

「名作文庫」通信



特集「戦記・軍記・英雄譚」

2016年

秋号

新しく入った本

「名作文庫」に新しく入った本をご紹介します。以前、ご紹介できなかった本も含まれております。一部、保存庫に所蔵されているものもあります。1階カウンターにてご請求ください。

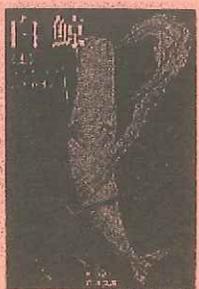


アッシャー家の崩壊／黄金虫

【著】ポー 【訳】小川 高義

【刊】光文社古典新訳文庫 【資料番号】1012156137

陰鬱な屋敷に旧友を訪ねた「私」が、神経を病んで衰弱した友と過ごすうち、恐るべき出来事に巻き込まれるホラーの名作「アッシャー家の崩壊」、暗号解読と宝探しが痛快な「黄金虫」などポーの代表的短篇7篇と詩2篇を収録。



白鯨（上）

【著】メルヴィル 【訳】八木 敏雄

【刊】岩波文庫 【資料番号】1012211080

「モービィ・ディック」と呼ばれる巨大な白い鯨をめぐって繰り広げられる、メルヴィル(1819 - 1891)の最高傑作。海洋冒険小説の枠組みに納まりきれない法外なスケールと独自のスタイルを誇る、象徴性に満ちた「知的ごった煮」。



武蔵野夫人

【著】大岡 昇平 【刊】新潮文庫

【資料番号】1012210108

貞淑で、古風で、武蔵野の精のようなやさしい魂を持った人妻・道子と、ビルマから復員してきた従弟の勉との間に芽生えた悲劇的な愛。武蔵野を舞台に、姦通・虚栄・欲望などをめぐる錯綜した心理模様を描く。

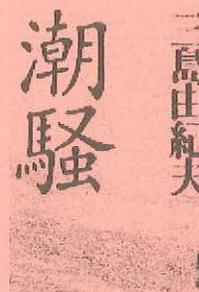


パルムの僧院

【著】スタンダール 【訳】大岡 昇平

【刊】新潮文庫 【資料番号】1012211890

時はナポレオンの時代。ワーテルローの戦いに参戦した青年貴族ファブリスを主人公に描かれる、政治的謀略と恋の物語。「幸福の追求」に生命を賭けたファブリスの「幸福」とは何だったのか。巨匠スタンダールの傑作長編。



潮騒

【著】三島 由紀夫 【刊】新潮文庫

【資料番号】1012213946

文明から孤絶した南海の小島で繰り広げられる、海神の恩寵あつい若き漁夫と、美しい乙女が奏でる清純で官能的な恋の牧歌。著者の人間生活と自然の美とが完璧に融合していた古代ギリシア的人間像に対する憧れが、端正な美しさに輝く名作を生んだ。



草の花

【著】福永 武彦 【刊】新潮文庫

【資料番号】1012209688

理知ゆえに、青春の途上でめぐりあった藤木忍との純粹な愛に破れ、藤木の妹との恋にも挫折した汐見茂思。彼はその青春の墓標を2冊のノートに記したまま、自殺行為にも似た手術を受けて、帰らぬ人となり…。青春の鎮魂歌。



哀しき父・椎の若葉

【著】葛西 善蔵 【刊】講談社文芸文庫

【資料番号】1012211098

「生活の破産、人間の破産、そこから僕の芸術生活が始まる」と記し、文学の為にはすべてを犠牲にする特異無類の生涯を送った。その作品は哀愁と飄逸を漂わせ凄絶可苛烈。処女作「哀しき父」、出世作「子をつれて」、絶筆「忌明」のほか「馬糞石」「蠢く者」他15篇。

戦記・軍記・英雄譚

古代に起こった大きな戦争の記録や、伝説に残る英雄譚に触れてみませんか。いつの時代にも通じる、戦争の悲哀や巻きこまれる人々のドラマがあります。名作文庫に収蔵されている作品をご紹介します。



ガリア戦記

【著】カエサル 【訳】石垣 憲一

【刊】平凡社ライブラリー 【資料番号】1011801238

紀元前58～52年ガッリア遠征の際、ローマ軍を率いたカエサル。ガッリア平定によりギリシャ・ローマ文化がヨーロッパに流れ込んだ。カエサル自らの筆になるこの歴史的な大事件の現場記録。率直かつ簡潔な言葉で語られるヨーロッパ史の古典中の古典。



プルタルコス英雄伝 (上)

【著】プルタルコス 【訳】村川 堅太郎

【刊】ちくま学芸文庫 【資料番号】1010380119

デルフォイの最高神官プルタルコスは、故国の栄光を懐かしみつつローマの平和を享受した“最後のギリシア人”であった。本書は、ギリシア・ローマの英雄たちをいきいきと描き、後世の人びとに広く愛読された古典的史書を読みやすく再編集した決定版である。



歴史 (上)

【著】ヘロドトス 【訳】松平 千秋

【刊】岩波文庫 【資料番号】1011799523

ギリシア諸都市とペルシア帝国の争いは激化を増し、紀元前5世紀、ついに大戦争の幕が切って落とされた。歴史の父、ヘロドトスが当時の風土俗習を交えて語るペルシア戦争を頂点とした東西抗争の物語。



イリアス (上)

【著】ホメロス 【訳】松平 千秋

【刊】岩波文庫 【資料番号】1011800743

トロイア戦争の末期、物語はギリシア軍第一の勇将アキレウスと王アガメムノンの、火を吐くような舌戦に始まる。激情家で心優しいアキレウス、その親友パトロクロス、トロイア軍の大將ヘクトルら、勇士たちの騎士道的な戦いと死を描く大英雄叙事詩。



中世騎士物語

【著】ブルフィンチ 【訳】野上 弥生子

【刊】岩波文庫 【資料番号】1011875398

アーサー王、トリスタンとイゾルデ、パーシヴァル等々、伝説やオペラの主人公として活躍する英雄や騎士、貴婦人たち。彼らは騎士道の典型—力、勇気、謙譲、忠誠、憐憫、貞淑など諸徳を具備した人間として登場する。



平家物語 上巻

【校注】佐藤 謙三 【刊】角川ソフィア文庫

【資料番号】1012029219

平安末期、王朝の貴族として位人臣を極めた平清盛が一門とともに滅亡するまでを描く。貴族中心社会であった平安朝が武士の世に変貌する時代を、一貫した仏教的無常観をもって語る。平曲として琵琶法師により語り継がれた物語。



太平記

【編】武田 友宏 【刊】角川ソフィア文庫

【資料番号】1011812607

後醍醐天皇即位から室町幕府細川頼之管領就任までの、日本史上最も苛烈な抗争の約50年間を描く軍記物語。新田・足利・楠木ら、様々な思いを持つ英雄たちの凄まじいドラマが展開する。動乱の南北朝史40巻のダイジェスト版。

あの人、あの一言。

名作に登場する忘れがたい人物やセリフ、そして文章をピックアップ。
心の糧に、座右の銘に、雑談の種に。

我々が空想で描いて見る世界よりも、 隠れた現実の方が遥かに物深い

柳田 国男 「山の人生」角川文庫

日本各地に残る伝承や言葉の伝播をたどり、それまで埋もれていた事実を掘り起こしていく民俗学は、そんな隠された真実の宝庫だ。伝説に隠された事実を知った時、その背景や辿ってきた経緯によって、より深い真実へと続く道が見えてくる。「物深い」という言葉に込められた、偉大な民俗学者の道程が垣間見える一文。

「名作文庫」で読める柳田 国男の作品

- 口語訳 遠野物語【刊】河出文庫 【資料番号】1012089429
山の人生【刊】角川ソフィア文庫 【資料番号】1011958137
海上の道【刊】角川ソフィア文庫 【資料番号】1012034649
妹の力【刊】角川ソフィア文庫 【資料番号】1012054977
妖怪談義【刊】角川ソフィア文庫 【資料番号】1011958111
一つ目小僧その他【刊】角川ソフィア文庫 【資料番号】1012034631

柳田 国男 (やなぎた くにお)

1875年(明治8年)7月31日～1962年(昭和37年)8月8日
飾磨県神東郡田原村辻川(現:兵庫県神崎郡福崎町辻川)生れ。

日本民俗学の草分けとして知られていますが、帝国時代には農務官僚で貴族院書記官長、終戦後は最後の枢密顧問官を務めるなど、官僚としても非凡な人物でした。

島崎藤村や田山花袋らと共に文学活動をした時期もありましたが、幼少時に体験した飢饉などの社会問題に立ち向かうため官僚を志しました。官僚として各地を視察するなかで、その土地土地に根ざし、育まれた文化や風習に触れ、これらを民俗学という新しい学問として体系化しました。また、民俗学が独自の領域と主張を持つための下地として、新渡戸稲造らとともに郷土会を設立、雑誌「郷土研究」を創刊するなどの活動を続けました。

その後も民俗学研究所や日本民俗学会の創設などに携わり、日本の民俗学発展に大きく貢献しました。「遠野物語」や「蝸牛考」などを執筆するなど、自身もまた民俗学研究に偉大な足跡を残し、現在も民俗学研究の巨人として多くの著作が読み継がれています。





いまこそ教養、「名作文庫」。

下井草図書館だけにある特別な本棚、「名作文庫」。

一度は読んでおきたい古今東西の名著名作を
ハンディなサイズの文庫版・新書版で集めた本棚です。
同じ作者の同じ作品がいろいろな本でそろっているので、
1冊ごとに違う解説、違う注釈、違う翻訳に
触れることができます。

題名だけしか聞いたことなかったあの作品、
いまこそ手にとってご覧になりませんか？

よりディープに楽しみたいあなたには 『名作文庫 蔵書紹介』『いまこそ名作！読書会』

実は「名作文庫」の一部は保存庫にしまわれています。

でも『名作文庫 蔵書紹介』を見れば大丈夫！

保存庫の本のこともバッチリ載っています。

読みおわって熱い感動を誰かに語りたい…と思ったら、
『いまこそ名作！読書会』にその思いを投稿しましょう！
投稿レビューは常時公開！同じ思いの誰かがいるかも。

季刊「名作文庫」通信

3・6・9・12月発行

杉並区立下井草図書館